

http://www

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan)

ニュースレター

2020年6月20日発行
第2号

VBTJ (Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp (長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470 (TEL&FAX、長谷川)

巻頭言



VBTJ 代表
大塩英人

この号の内容

- 1 巻頭言(大塩英人)
- 2 東京日暮里のベトナム語礼拝(AGAPE 福音教会)特集
(グエン・ティ・クイ・ナ)
(グエン・ティ・ホアイ・ブン)
- 3 (グエン・ミン・クアン)
(トラン・ティエン・タン)
- 4 各教会におけるベトナム人との交流の証し
お祈りと支援献金のお願い
会計報告
編集後記

現代の日本にもアパルト
ヘイトが存在し、また
アウシュヴィッツが存在
しています。

皆様、いかがお過ごしでしょうか？特に4月5月と新型コロナウイルスによる自粛期間があり精神的に苦しかったと思います。皆様のまわりの方々にも大きな問題が無ければと思います。今回、世の中は前提条件の一つが変わっただけで社会全体のバランスが崩れ、これでもかと人の自我を見せつけられました。人種差別、買い占め、病気に罹った人への差別、自粛ポリス、分断を指向する為政者への失望が短時間に広範囲に、また重層的・継続的にシェアされていきました。私たちはとても傷つき今も傷ついています。

満足感と幸福感は分けて考えなければなりません。満足感というのは短期的で移ろいやすいもの、また前提条件次第ですぐ不満足に変わります。しかし幸福感は違います。ノアが方舟から出た時、主は「わたしは、決して再び人のゆえに、この地をのろうことはすまい。人の心の思い計ることは、初めから悪であるからだ。わたしは、決して再び、わたしがしたように、すべての生き物を討ち滅ぼすことはすまい。」と仰せられました。大事な点は、私たちと世の中は悪いという事。それでも主は私たちと世の中を滅ぼさないので。コロナ騒動における様々な悪にも私たちは約束によって多くの不満足に耐える事ができ、また約束によって主ともにいる幸せを得る事ができます。経済活動と疫病対策、自由と平等と一緒に満足させる事ができない世の中にあっては、善なる神との和解がすべてである事を改めて認識する必要がありました。

しかし、アパルトヘイト、アウシュヴィッツに代表される人種差別と虐待に対してはどうでしょうか？これらは終わった話ではありません。また南アフリカ、ドイツ、米国だけの話でもありません。現代の日本にもアパルトヘイトが存在し、またアウシュヴィッツが存在しています。日本の外国人労働者の問題は差別の問題で、同一労働同一賃金や転職の自由を定めた国際労働機関の原則に反した不平等の問題であり、その延長線上に牛久・大村の外国人収容施設の虐待があります。人は、それをたいした問題ではないとか見なかったふりをする事もできるでしょう。しかしもし教会も同じような態度をとるとしたら、神との和解を宣べ伝える教会のありように反するのではないのでしょうか？私たちも虐待している日本人、虐待されている在日外国人の双方に悔い改めと赦しが与えられるよう聖霊による知恵を求めましょう。

どうぞ、奇跡が起こりますように。